

北恵株式会社

2020年11月期第2四半期決算説明資料

2020年7月31日

証券コード：9872

東証1部

<http://www.kitakei.jp/>

〔1〕 2020年11月期 第2四半期決算 概要

[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ 損益計算書

(金額単位:百万円)

2019年11月期
第2四半期

2020年11月期
第2四半期

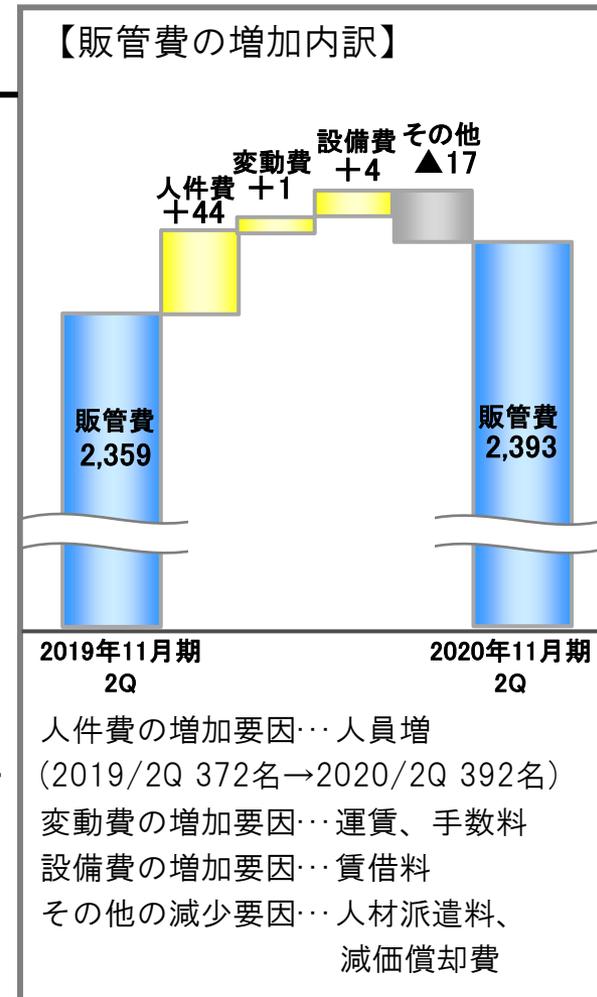
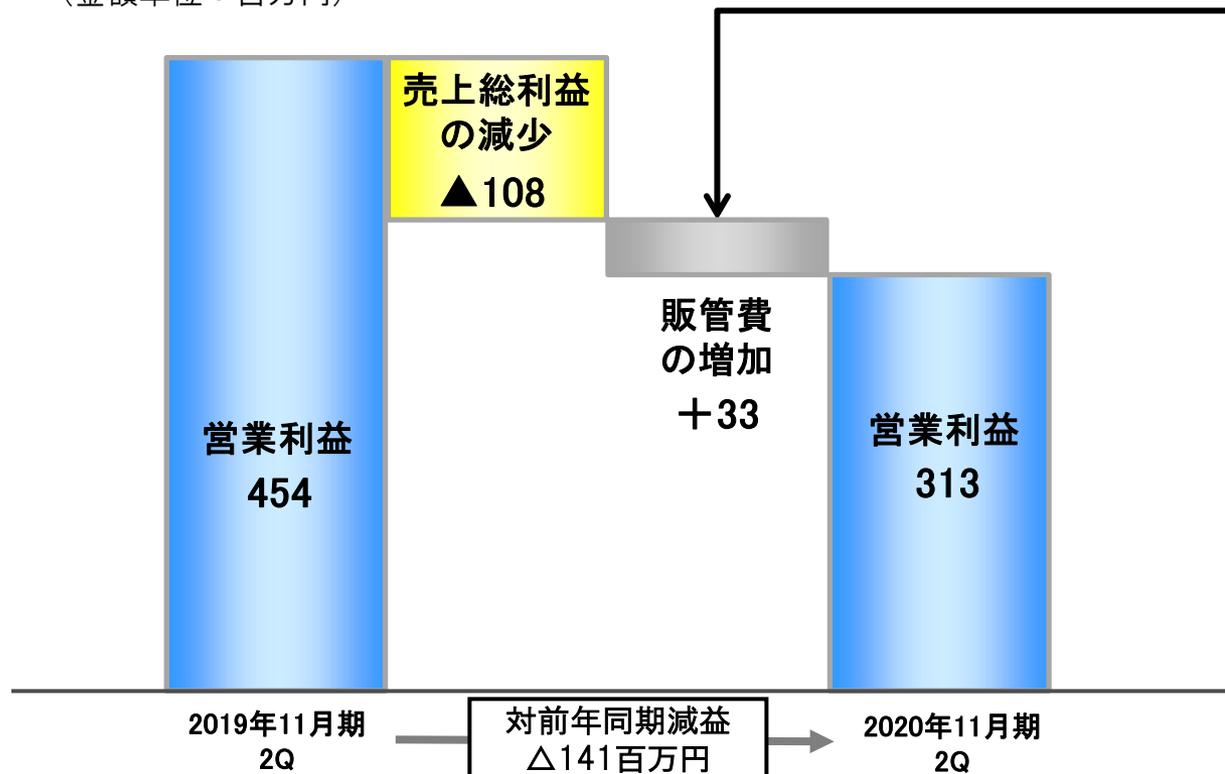
	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比	前年 同期比	計画比
売上高	28,370	100.0%	26,935	100.0%	△ 5.1%	△ 3.8%
売上総利益	2,814	9.9%	2,706	10.0%	△ 3.8%	△ 3.5%
販管費	2,359	8.3%	2,393	8.9%	+1.4%	△ 1.9%
営業利益	454	1.6%	313	1.2%	△ 31.2%	△ 14.2%
経常利益	516	1.8%	377	1.4%	△ 26.8%	△ 11.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	330	1.2%	310	1.2%	△ 5.8%	+17.8%

(注) 計画比は、2019年12月27日に発表した2020年11月期第2四半期業績予想数値（売上総利益ならびに販管費については前述発表時における期初計画値）との計画対比です。

[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ 営業利益分析

(金額単位：百万円)



[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ 商品別売上高

(金額単位:百万円)

 2019年11月期
第2四半期

 2020年11月期
第2四半期

	売上高	売上高 構成比	売上高	売上高 構成比	前年 同期比	[ご参考] 主要商品
木質建材	3,498	12.3%	3,394	12.6%	△ 3.0%	ユニットドア、クローゼット、フロア、収納ユニット、階段セット
非木質建材	1,911	6.7%	2,267	8.4%	+18.6%	石膏ボード、断熱材、屋根材、不燃ボード、サイディング
合板	1,240	4.4%	1,019	3.8%	△ 17.9%	ラワン合板、針葉樹合板
木材製品	1,225	4.3%	1,358	5.0%	+10.9%	木材構造材、木材造作材、フローリング
住宅設備機器	6,626	23.4%	6,237	23.2%	△ 5.9%	システムキッチン、ユニットバス、洗面ユニット、トイレ、空調機器、 燃焼機器、太陽光発電パネル
施工付販売 (メカ-施工)	943	3.3%	610	2.3%	△ 35.3%	外壁工事、住設工事、屋根工事、構造躯体工事、内装工事、 サッシ工事、太陽光発電システム
その他	2,230	7.9%	2,233	8.3%	+0.1%	サッシ、エクステリア、化成品、建築金物、建築道具
商品販売	17,676	62.3%	17,121	63.6%	△ 3.1%	
施工付販売 (完成工事高)	10,693	37.7%	9,814	36.4%	△ 8.2%	外壁工事、住設工事、屋根工事、構造躯体工事、内装工事、 サッシ工事、太陽光発電システム
合計	28,370	100.0%	26,935	100.0%	△ 5.1%	
オリジナル商品	1,048	3.7%	1,069	4.0%	+2.0%	軒天破風一体型板金、フローリング、換気システム

【主な動き】

重点商品である住宅設備機器と施工付販売（完成工事高）の減少により、売上高は減少となったが、その他に含まれる「ノキハフダーZ」の売上が伸びたことにより、オリジナル商品は前期比2.0%増となった。

- 住宅設備機器の減少要因
COVID-19の拡大に伴う、メカ-での製造停止等の影響による納期遅れ。
- 施工付販売（完成工事高）の減少要因
屋内作業休止等に伴う住設工事等の減少。

(注) 1. 施工付販売は、仕入メーカーの責任施工により行っている工事（＝メカ-施工）と当社の手配による下請工事業者により行っている工事（＝完成工事高）に分割して記載しております。

2. オリジナル商品の販売実績は主に、木質建材、木材製品、住宅設備機器、その他に含まれております。

[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ 地域別売上高

(金額単位:百万円)

2019年11月期
第2四半期

2020年11月期
第2四半期

	売上高		売上高		内訳			
	売上高	構成比	売上高	構成比	商品販売		施工付販売	
					前年 同期比	前年 同期比	(完成工事高)	前年 同期比
近畿	9,595	33.8%	9,373	34.8%	7,238	△ 5.1%	2,134	+8.6%
九州・中四国	4,728	16.7%	4,671	17.3%	3,209	+0.4%	1,462	△ 4.4%
中部	2,735	9.6%	2,519	9.4%	1,520	△ 6.4%	998	△ 10.1%
東日本	11,310	39.9%	10,371	38.5%	5,152	△ 1.4%	5,218	△ 14.3%
内、首都圏	8,728	30.8%	7,722	28.7%	3,989	△ 5.0%	3,733	△ 17.6%
売上高	28,370	100.0%	26,935	100.0%	17,121	△ 3.1%	9,814	△ 8.2%

【主な動き】

- 商品販売は九州・中四国を除き売上高が減少。
- 施工付販売(完成工事高)は、売上高構成比率が高い中部と東日本で特に伸び悩んだ。

(注) 1. 当社の地域区分につきましては、P.19「事業所ネットワーク」をご参照下さい。

2. 地域別の商品別売上実績の詳細につきましては、P.18「地域別・商品別売上実績」をご参照下さい。

[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ 貸借対照表

(金額単位:百万円)

	2019年 11月期	2020年11月期 第2四半期	
	金額	金額	前期末比
流動資産	21,662	20,565	△ 5.1%
※1 現金及び預金	9,847	9,813	△ 0.3%
※2 受取手形及び売掛金・電子記録債権	10,245	9,303	△ 9.2%
商品・未成工事支出金	1,450	1,425	△ 1.8%
固定資産	4,052	3,957	△ 2.4%
有形固定資産	1,663	1,745	+4.9%
無形固定資産	61	62	+1.4%
投資その他の資産	2,327	2,149	△ 7.6%
資産合計	25,715	24,523	△ 4.6%
負債の部	14,001	12,816	△ 8.5%
※3 流動負債	12,689	11,533	△ 9.1%
支払手形及び買掛金・電子記録債務	11,426	10,512	△ 8.0%
固定負債	1,312	1,282	△ 2.3%
純資産の部	11,714	11,707	△ 0.1%
株主資本	11,400	11,507	+0.9%
その他の包括利益累計額	313	200	△ 36.1%
負債・純資産合計	25,715	24,523	△ 4.6%
有利子負債	0	0	-
自己資本比率(%)	45.6%	47.7%	2.1%
売上債権回転日数(日)	68.5日	66.0日	△ 2.5日
棚卸資産回転日数(日)	9.9日	9.7日	△ 0.1日
買入債務回転日数(日)	76.2日	74.1日	△ 2.1日

【主な動き】 (前連結会計年度末比)

- 資産…11億92百万円の減少
 - ・受取手形及び売掛金の減少8億71百万円
 - ・投資その他の資産の減少1億57百万円
- 負債…11億85百万円の減少
 - ・支払手形及び買掛金の減少10億
- 純資産…6百万円の減少
 - ・利益剰余金の増加1億6百万円
 - ・その他有価証券評価差額金の減少1億17百万円

$$\text{売上債権(※1)回転日数} = \frac{\text{期初売上債権} + \text{期末売上債権}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

$$\text{棚卸資産(※2)回転日数} = \frac{\text{期初棚卸資産} + \text{期末棚卸資産}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

$$\text{買入債務(※3)回転日数} = \frac{\text{期初買入債務} + \text{期末買入債務}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

※4 期中日数:2019年11月期=365日
2020年11月期第2四半期=182日

[1] 2020年11月期 第2四半期決算 概要

■ キャッシュフロー計算書

(金額単位:百万円)

	2019年11月期 第2四半期	2020年11月期 第2四半期	
	金額	金額	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	845	212	△ 74.9%
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 162	△ 42	△ 73.8%
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 211	△ 203	△ 4.1%
現金及び現金同等物 の増減額	470	△ 33	△ 107.1%
現金及び現金同等物 の期首残高	9,302	9,847	+5.9%
現金及び現金同等物 の四半期末残高	9,773	9,813	+0.4%
(ご参考) 手元流動性比率(カ月)	2.1	2.2	

【主な動き】 (前年同期比)

- 営業活動によるC/F
〔増加要因〕
売上債権の減少額8億73百万円
税金等調整前四半期純利益4億91百万円
〔減少要因〕
仕入債務の減少額9億10百万円
法人税等の支払額2億
- 投資活動によるC/F
〔増加要因〕
有価証券の償還による収入1億円
〔減少要因〕
有形固定資産の取得による支出
1億43百万円
- 財務活動によるC/F
〔主な要因〕
配当金の支払額2億3百万円

〔2〕 2020年11月期 当社戦略と見通し

〔2〕 2020年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

2020年11月期 第2四半期 新設住宅着工戸数

(単位:千戸)

	総数	持家+分譲一戸建		マンション	貸家	
		持家	分譲一戸建			
2018年12月 ~2019年5月	445	139	72	212	61	167
2019年12月 ~2020年5月	399	122	67	190	54	149
前年 同期比	△ 10.5%	△ 12.2%	△ 6.2%	△ 10.2%	△ 10.8%	△ 10.5%

2019年12月
~2020年5月

	総数	前年 同期比	持家+分 譲一戸建	前年 同期比
九州・中四国	74	△ 12.2%	36	△ 9.8%
中部	50	△ 12.6%	29	△ 12.4%
東日本	209	△ 11.0%	98	△ 10.1%
内、首都圏	138	△ 10.4%	53	△ 9.9%
合計	399	△ 10.5%	190	△ 10.2%

マンションと
比較すると、
分譲一戸建の
落ち込みは
少ない

【当社の見方】

- 当社第2四半期決算期間における新設住宅着工戸数は、全国的に減少し、前期比約1割減。
- 当社の主たる市場である持家及び分譲一戸建住宅の合計は前期比10.2%減。
- 国内景気は、政府による経済政策などが実施されつつあるものの、COVID-19の拡大に伴う先行き不透明な状況は解消されにくいと考えられる。
- 住宅関連業界は、政府による住宅取得支援策の効果や低金利の継続が予想されるが、駆け込み需要の反動減に加えCOVID-19拡大の影響により消費活動の低下が見込まれることから新設住宅着工戸数は近年に比べかなり減少すると考えられる。

(注) 「建築着工統計調査」(総務省統計局)に基づき、当社決算期間及び当社地域区分にて集計しております。

[2] 2020年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による業界への影響と、業界の動きや対応

COVID-19による業界への影響	業界の動きや対応
<ul style="list-style-type: none"> ●メーカーの製造ライン停止等に伴う商品の製造・納期遅延。 ●施工現場（特に内装工事）での三密回避等に伴う工期遅延。 ●住宅展示場等の集客イベントの中止に伴う新規営業の停止。 ●社員の出勤自粛に伴うテレワークや時差出勤等への対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ●持家及び分譲一戸建住宅については急激ではないが一定の割合では減少するものと予想。 ●対面営業も相手先の許可を得る等条件付きで再開しつつはあるが、都道府県をまたいだ出張の制限や社内会議等はオンラインでの実施等、制約のある中での営業活動。 ●在宅勤務等の継続や社内システムの見直し等、今般の影響を踏まえたBCP対策のより一層の強化。

〔2〕 2020年11月期 当社戦略と見通し

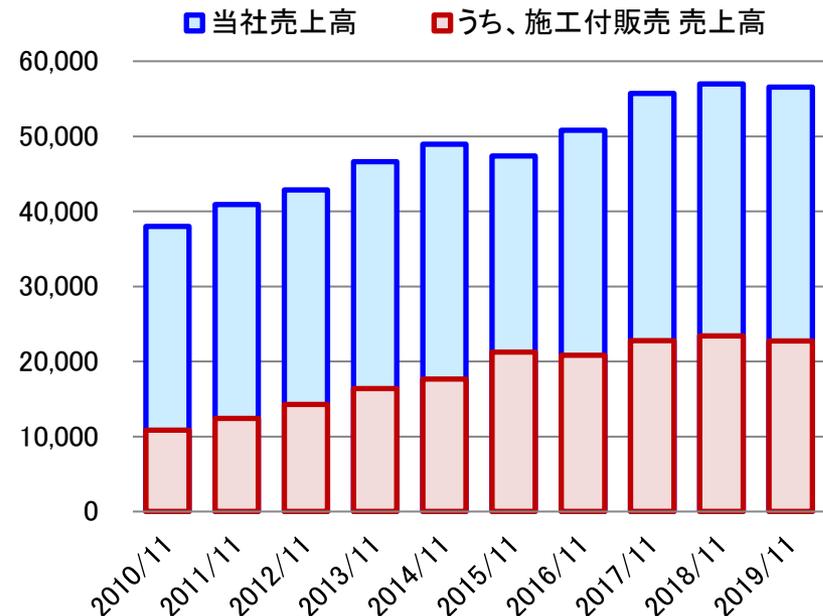
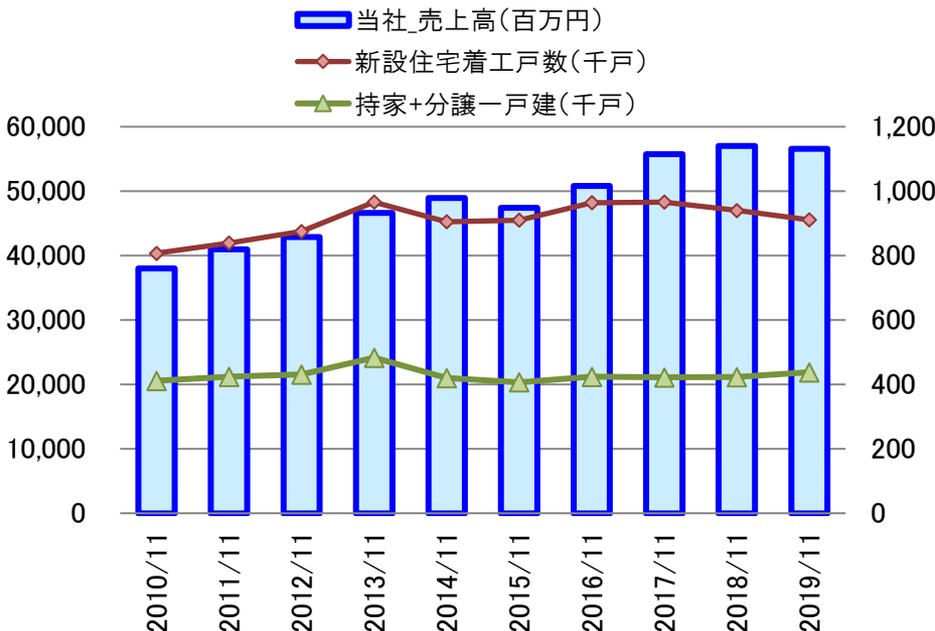
■ 新設住宅着工戸数・当社売上高推移

新設住宅着工戸数の推移は当社の売上高に影響を及ぼすと認識しております。

当社の売上高を牽引する最大の柱は、施工付販売です。

新設住宅着工戸数、当社売上高 推移

当社売上高及び施工付販売売上高推移



(注) 「建築着工統計調査」(総務省統計局)に基づき、当社決算期間(12月~11月)にて集計しております。

(注) 施工付販売の数値は商品販売(メカ-施工)と完成工事高を合算しています。

〔2〕 2020年11月期 当社戦略と見通し

■ 今期の取り組み

■ 戦略的方向性

- 地域の優良企業、住宅メーカー、ホームセンターなどの新規取引先の開拓。
- 新築住宅及びリフォーム需要に対応したキッチン・ユニットバスなどの住宅設備機器の販売。
- オリジナル商品の拡販。
- 非住宅などの新規市場の開拓。

■ 今期のトピックス

- 明石・水戸の2カ所の出張所を今期より明石営業所（2019年11月より）・水戸営業所（2020年5月より）とした。
- 鹿児島島出張所を開設。（2020年5月より）
- オリジナル商品の「ノキハフダーZ」の売上が好調。
（前年同期比7.4%増）

〔2〕 2020年11月期 当社戦略と見通し

■ 業績見通し

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴う先行き不透明な現在の状況が、当社グループの今後の事業活動や経営成績に影響を及ぼす可能性があるものの、その影響を現時点で適正且つ合理的に算定することが極めて困難なことから、2020年11月期の通期連結業績予想につきましては、未定としております。

なお、合理的な算定が可能となりました段階で改めて公表させていただきます。

〔3〕 株主還元について

〔3〕株主還元について

■ 配当の基本方針

当社は、「安定した配当を継続」しつつ、「業績に応じた利益還元」を行います。配当額は、1株当たり年間14円を下限とし、連結配当性向35%を目途としております。

■ 2020年11月期について

通期連結業績予想が現状未定のため、期末配当金についても現状未定。通期連結業績予想値が合理的に算定可能となった時点で速やかに開示いたします。

決算年月						予想
	2015年 11月期	2016年 11月期	2017年 11月期	2018年 11月期	2019年 11月期	2020年 11月期
1株当たり 当期純利益金額 (円)	49.73	45.15	58.50	58.71	61.41	未定
1株当たり 配当額 (円)	14.00	14.00	20.00	23.00	22.00	未定
配当性向(連結) (%)	28.2%	31.0%	34.2%	39.2%	35.8%	

(注) 2018年11月期の1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当2.00円が含まれております。

〔3〕 株主還元について

■ 株主優待

毎年11月20日(期末時)に、1 単元(100株)以上保有されている株主様を対象に、ご所有の株式数に応じて、以下のご優待を行っております。

1,000株以上



郵便局の選べるギフト
「鳥」※

500株以上1,000株未満



QUOカード
(1,000円分)

100株以上500株未満



QUOカード
(500円分)

※ 3,000円相当の商品をカタログより
お選びいただけます。

※ 優待画像はイメージです

ご参考資料

(ご参考)

■ 地域別・商品別売上実績

(金額単位: 百万円)

		木質建材	非木質建材	合板	木材製品	住宅設備 機器	施工付 販売 (メカ-施工)	その他	商品販売	施工付 販売(完成 工事高)	合計	ご参考 オリジナル 商品
近畿	2019年11月期2Q実績	1,650	739	752	283	3,191	203	807	7,629	1,966	9,595	423
	2020年11月期2Q実績	1,615	755	552	302	3,079	176	756	7,238	2,134	9,373	405
	増減額	△ 34	+15	△ 200	+19	△ 112	△ 26	△ 50	△ 390	+168	△ 222	△ 17
九州・中四国	2019年11月期2Q実績	553	350	118	289	1,232	206	447	3,197	1,530	4,728	246
	2020年11月期2Q実績	593	451	129	340	1,215	55	424	3,209	1,462	4,671	243
	増減額	+40	+100	+10	+50	△ 16	△ 150	△ 23	+11	△ 67	△ 56	△ 3
中部	2019年11月期2Q実績	229	241	111	41	521	187	293	1,625	1,110	2,735	76
	2020年11月期2Q実績	199	324	81	49	434	125	305	1,520	998	2,519	84
	増減額	△ 29	+83	△ 29	+7	△ 86	△ 62	+11	△ 104	△ 112	△ 216	+7
東日本	2019年11月期2Q実績	1,065	579	257	610	1,681	346	682	5,224	6,085	11,310	302
	2020年11月期2Q実績	986	735	256	666	1,507	252	747	5,152	5,218	10,371	335
	増減額	△ 79	+156	△ 1	+55	△ 174	△ 94	+65	△ 71	△ 867	△ 938	+33
内、首都圏	2019年11月期2Q実績	926	513	216	454	1,230	322	532	4,197	4,531	8,728	212
	2020年11月期2Q実績	863	612	215	424	1,068	221	584	3,989	3,733	7,722	246
	増減額	△ 63	+98	±0	△ 29	△ 162	△ 101	+51	△ 207	△ 797	△ 1,005	+34
合計	2019年11月期2Q実績	3,498	1,911	1,240	1,225	6,626	943	2,230	17,676	10,693	28,370	1,048
	2020年11月期2Q実績	3,394	2,267	1,019	1,358	6,237	610	2,233	17,121	9,814	26,935	1,069
	増減額	△ 103	+355	△ 221	+133	△ 389	△ 333	+3	△ 555	△ 879	△ 1,434	+20

(注) 当社の地域区分につきましては、P.19「事業所ネットワーク」をご参照下さい。

(ご参考)

■ 事業所ネットワーク

全国26カ所の
営業拠点

九州・中四国

- 岡山営業所
- 高松営業所
- 鳥栖営業所
- 福岡営業所
- (● 鹿児島出張所)
- 北九州営業所
- 熊本営業所

近畿

- 大阪中央営業所
- 阪和営業所
- 兵庫営業所
- 明石営業所
- 奈良営業所
- 滋賀営業所
- 京都営業所

本社

- 営業推進部
- 特販推進部
- 仕入部

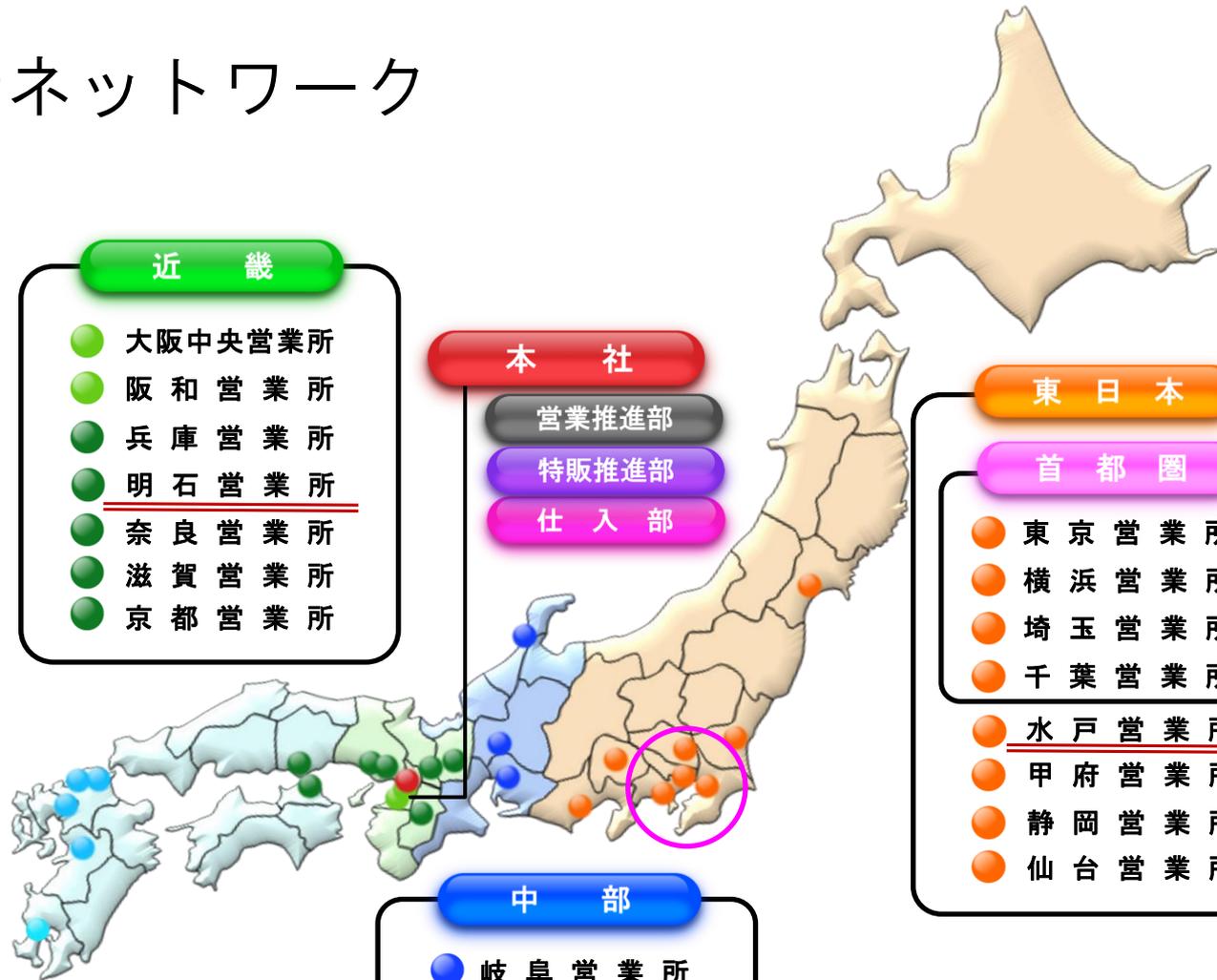
東日本

首都圏

- 東京営業所
- 横浜営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 水戸営業所
- 甲府営業所
- 静岡営業所
- 仙台営業所

中部

- 岐阜営業所
- 名古屋営業所
- 金沢営業所

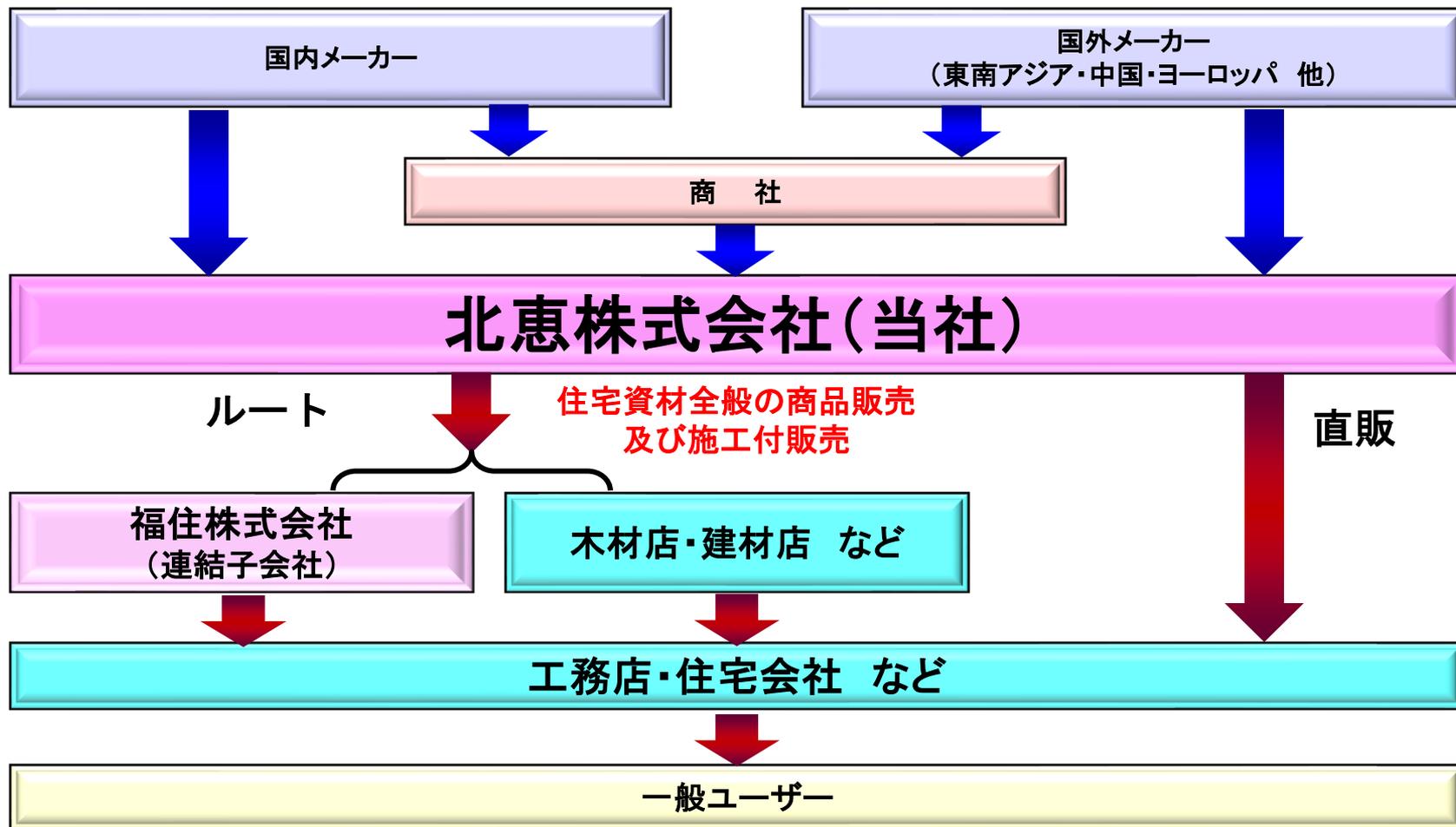


※下線は今期(2020年11月期)開設

海外拠点：ホーチミン駐在員事務所
 子会社：福住株式会社
 本社(兵庫県姫路市)
 三重・福岡

(ご参考)

■ 販売チャネル

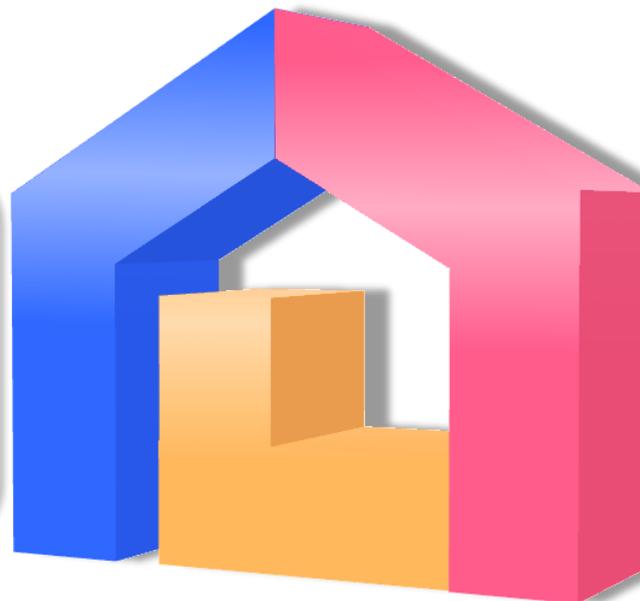


(ご参考)

■ 重点商品

住宅設備
機器

お施主様が特に重視される
キッチンやバスを、取扱メー
カーの中から自由に組み合わ
せることが可能



施工付
販売

【完成工事高の特徴】

- ・ 当社独自の外壁工事瑕疵
10年保証
- ・ 協力業者約1,200社の
ネットワークを生かした
全国規模の工事体制

オリジナル
商品

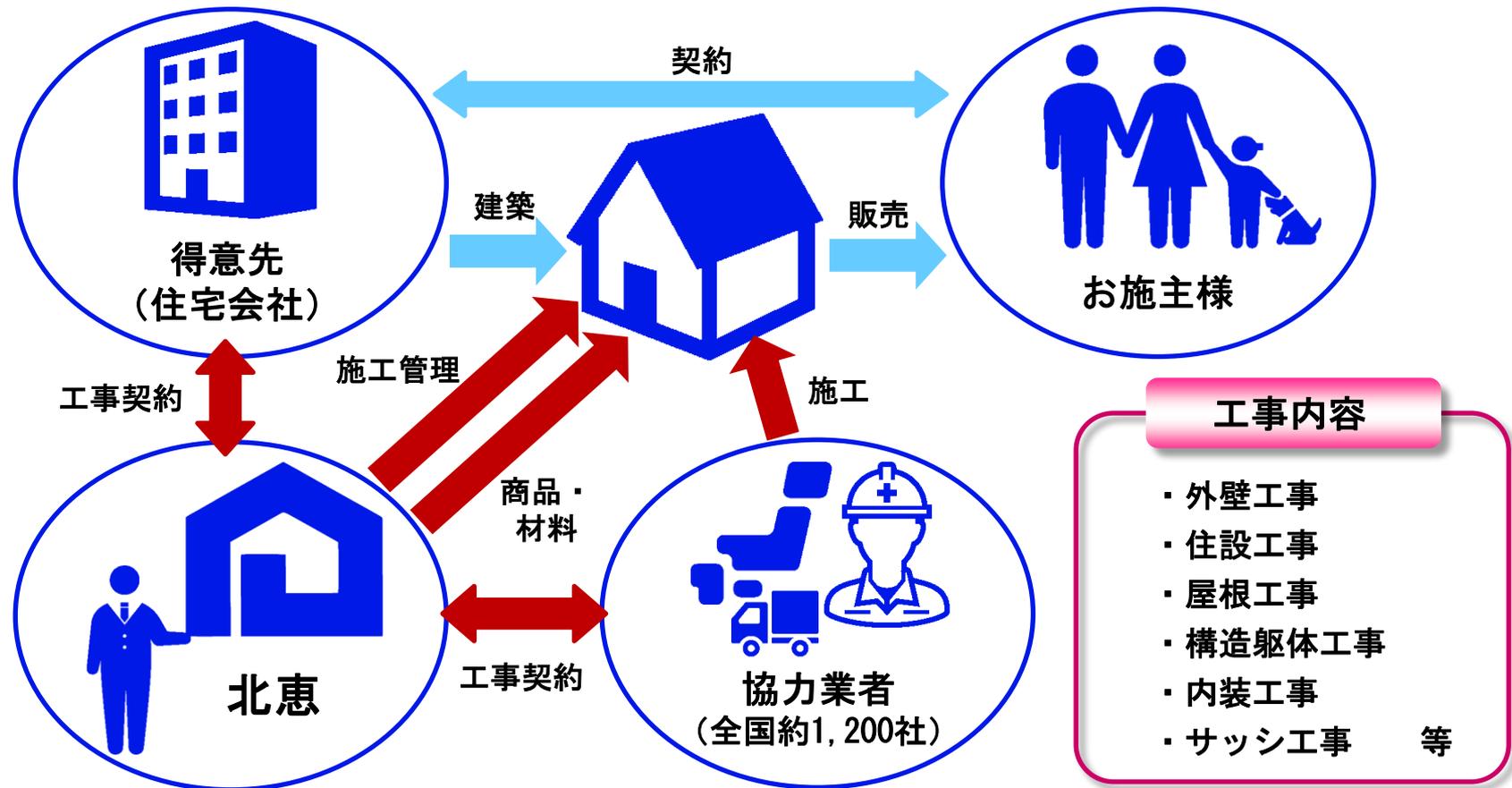
日々の暮らしをサポートする機能性と、個性を両立した
オリジナル商品の開発・販売

 relaxssing wood

 **SPROUT**
UNIVERSAL SERIES

(ご参考)

■ 施工付販売（完成工事高）の流れ



■ お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

経営企画部 TEL 06-6251-1161（代表）

本資料には、当社の業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、これらは、本資料作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。